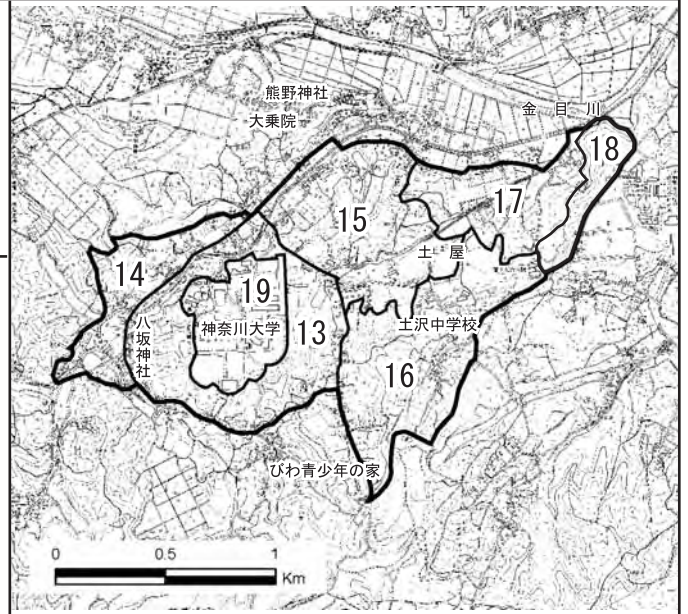
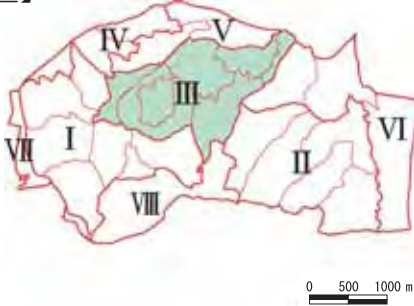


大地区Ⅲ 神奈川大学周辺


【評価】

	自然	場	緑の質	生物
総合	B	B	C	A
A	人とのかかわり	景観	ふれあい	人文
	A	B	A	A

【地区位置】

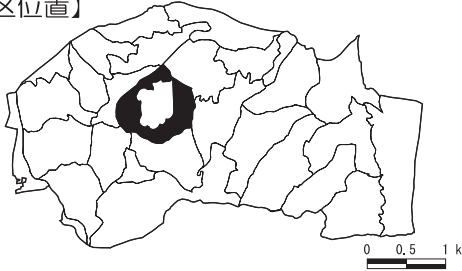


	内 容
総合評価	樹林、農地、古い集落の住宅地、新しい住宅地などが混在した自然と景観がみられる。主要な人とのふれあいの場となっており、人文資源も豊富である。里山らしさがよく残されている。
自然評価 総合評価	農地が多く、大学や住宅街もあるものの丘陵斜面や金目川沿いの段丘崖にまとまりのある樹林が点在している。座禅川沿いの低地や小規模な谷戸には水田や水田放棄植物群落もみられ、樹林、草地、水辺の指標種が生息、生育している。良好な里山の自然が残されている。
人との かかわり 評価総評	樹林、農地、古い集落の住宅地、新しい住宅地などが混在した景観がみられる。散策路が多く通過する。自然体験フィールドでは、雑木林の管理や自然観察の場として、活発な活動が行われている。自然観察場所としての利用もあり、主要な人とのふれあいの場となっている。道祖神、史跡、保全樹、指定文化財、社寺、湧水など人文資源が特に多い。
	
関東ふれあいの道からの眺望 05.7.21 撮影	里山的な風景（小地区 15） 05.09.17 撮影

内 容		
景 観	<p>里山景観要素の割合が 74.9%とやや高く、里山の景観が比較的よく残されている。樹林が 30.1%、畑地が 27.4%と多く、その他、新しい住宅地など 13.7%、古い集落の住宅地 11.3%などがみられる。</p> <p>地区内の鷺坂の斜面林は、市域の 9.8%から眺望できる。</p> <p>地区の 44.9%が地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>	
ふれあい	<p>【散策路】『湘南ひらつかやすらぎ回廊』 (「川と緑のそよかぜロード」、「近未来へのこもれびロード」、 「緑と文化の湘南丘陵の道」、「花といにしへの田園散歩道」) 『関東ふれあいの道』</p> <p>【展望地点】なし</p> <p>【自然体験フィールド】 小地区 15 の南東方の丘状地形の場所が「平塚の自然を守る会」の活動場所となっている。また、神奈川大学の敷地内に「土屋の杜」があり、一般に開放されている。</p> <p>【自然観察場所】 小地区 13 の県道 77 号線から、びわ青少年の家に至る道、小地区 14 の座禅川北側の雑木林、小地区 15 の正蔵院の東側から南西にのびる道、小地区 17 の座禅川沿いが利用されている。</p> <p>【自然とのふれあい施設】なし</p>	
人 文	<p>【道祖神】 県道 77 号線沿い、芳盛寺や座禅川周辺の集落付近、土沢中学校周辺、小地区 16 の西側に、計 19 箇所ある。</p> <p>【水神】なし</p> <p>【史跡】惣領分の浅間さま登山碑、富士講の石祠、人増の館跡</p> <p>【保全樹】くすのき、けやき、しいのきがある。</p> <p>【指定文化財】芳盛寺の平塚市指定有形文化財 (絵画：紙本版摺着色 十二天像のうち十一天、 絹本着色 僧空海画像)</p> <p>【社寺】日枝(ひえ)神社、八坂神社、芳盛寺、十二社権現、 正蔵院、妙圓寺、造化神社(2社)</p> <p>【湧水】民有地に自噴の湧水がある。</p> <p>【滝】なし</p>	
		
妙圓寺 (銭洗い弁天)	芳盛寺	座禅川

小地区 13

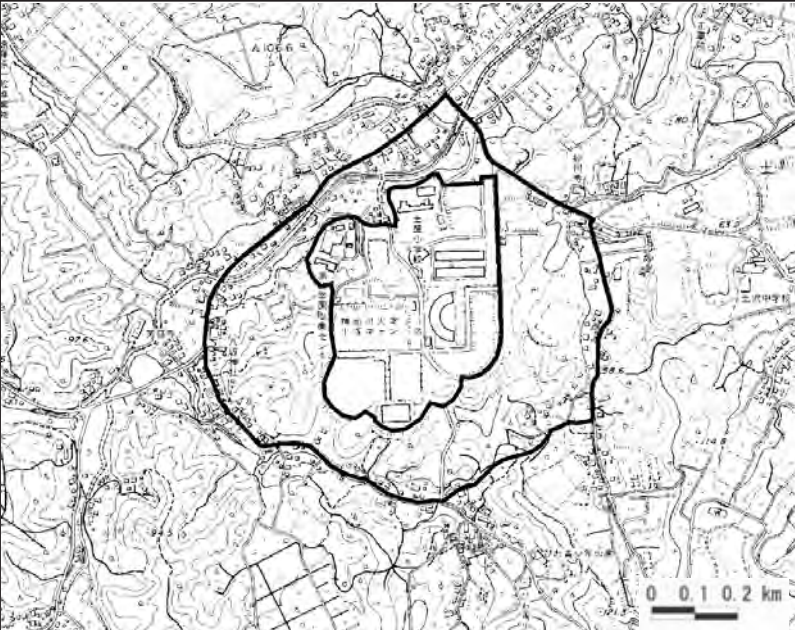
【地区位置】



0 0.5 1 km

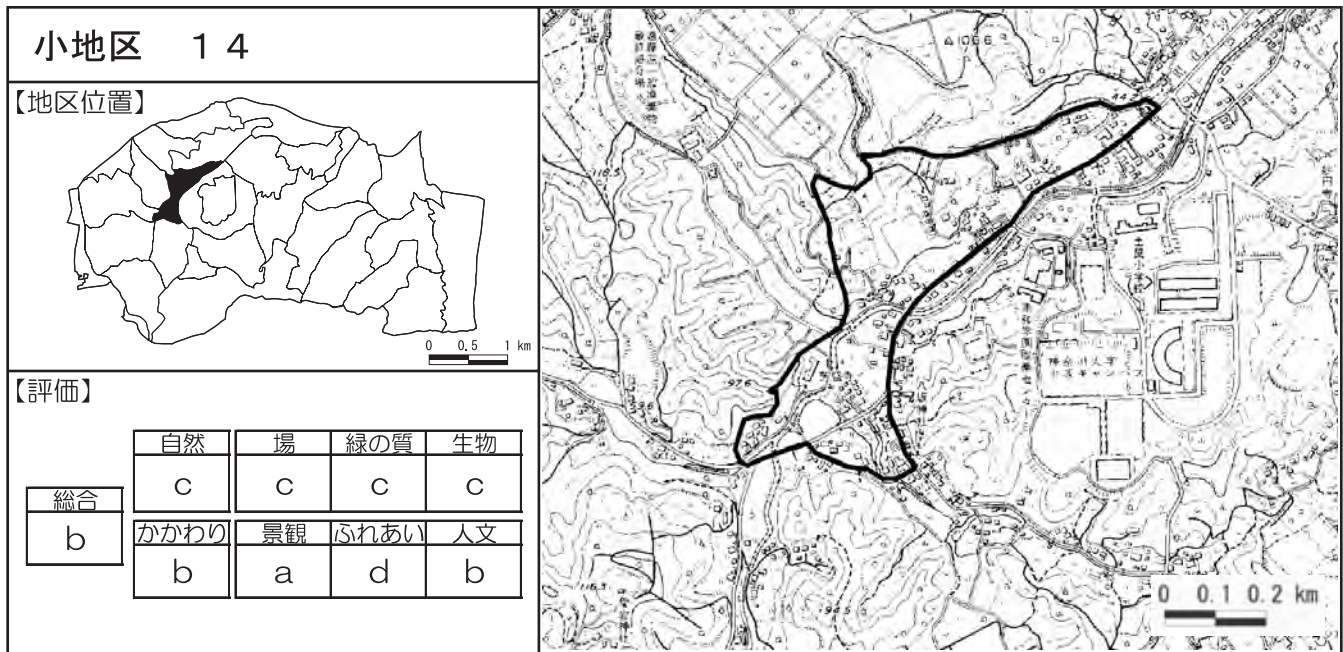
【評価】

	自然	場	緑の質	生物
総合	b	b	b	b
b	かかわり	景観	ふれあい	人文
	b	b	b	c

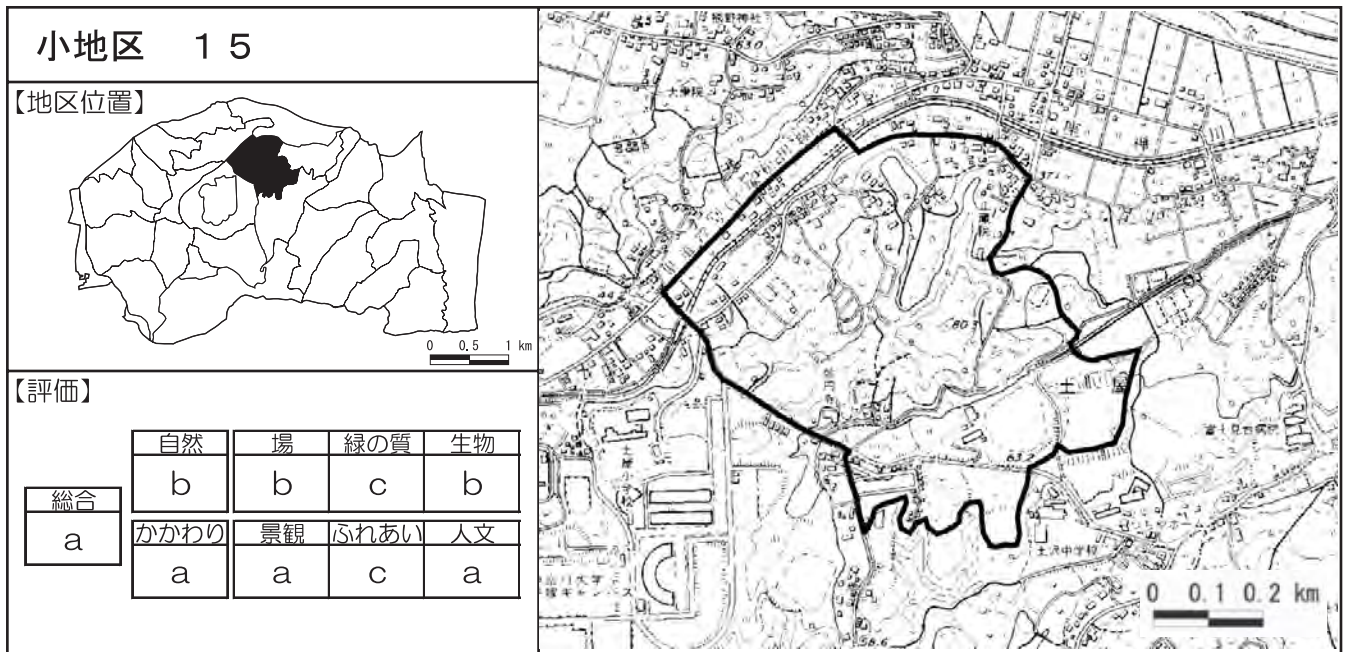


0 0.1 0.2 km

内 容	
総合評価	良好な自然と景観がみられる。人とのふれあいの場となっており、人文資源もある。里山らしさが比較的良好に残されている。
自然評価総評	<p>神奈川大学の周囲に残された樹林がまとまりのある緑を形成している。</p> <p>斜面には二次林が広がり、座禅川沿いの低地や小規模な谷戸には水田や水田放棄植物群落もわずかながらみられる。樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育しており、良好な里山としての自然が残されている。</p>
人のかかわり評価総評	<p>樹林、集落、農地が近接した里山の景観が比較的良好に残されている。</p> <p>散策路があり、地区の一部が自然観察場所として利用され、人とのふれあいの場となっている。</p> <p>道祖神、浅間さま登山碑、日枝神社、八坂神社などの人文資源がある。</p>
景観	<p>里山景観要素の割合が 78.9%とやや高く、里山の景観が比較的良好に残されている。樹林が 44.0%と多く、その他、古くからの集落の住宅地 16.7%、新たな住宅地など 13.3%、畑地 10.2%などがみられる。</p> <p>地区の 69.6%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>
ふれあい	<p>地区の北西側の県道 77 号線から、びわ青少年の家に至る道が、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「川と緑のそよかぜロード」に選定されている。また、県道 77 号線から地区の東側に沿った道が『関東ふれあいの道』に選定されている。</p> <p>自然体験フィールドは神奈川大学の敷地内に「土屋の杜」がある。</p> <p>自然観察場所は、県道 77 号線から、びわ青少年の家に至る道が利用されている。</p>
人文	<p>道祖神は、県道 77 号線沿いに 3 箇所ある。</p> <p>史跡は、惣領分の「浅間さま登山碑」がある。</p> <p>社寺は、惣領分の八坂神社や一名神社である日枝神社がある。</p>



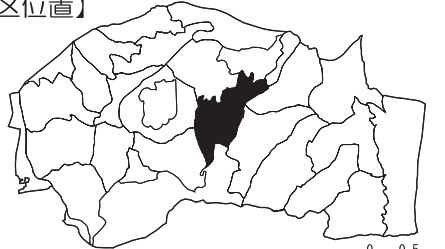
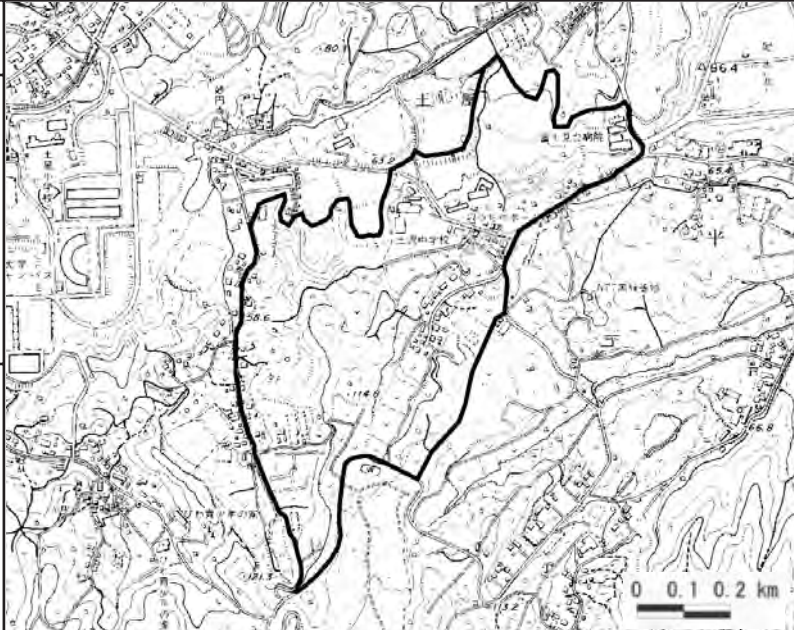
	内 容
総合評価	<p>集落、樹林、農地が近接した自然と景観がみられる。人とのふれあいの場となっており、人文資源も多い。里山らしさが比較的よく残されている。</p>
自然評価 総評	<p>座禅川上流の中核となる緑と神奈川大学周辺のまとまりのある緑の緩衝帯となる。</p> <p>斜面に農地と小規模な二次林が混在し、座禅川も流下していることから、樹林、草地、水辺の指標種が生息、生育している。</p>
人との かかわり 評価総評	<p>集落、樹林、農地が近接した里山の景観がよく残されている。</p> <p>散策路があり、地区の一部が自然観察場所として利用され、人とのふれあいの場となっている。</p> <p>道祖神、市指定の有形文化財、芳盛寺、造化神社、十二社権現などの人文資源がある。</p>
景 観	<p>里山景観要素の割合が 86.1%と高く、里山の景観がよく残されている。古くからの集落の住宅地 29.3%、樹林 23.5%、畑地 24.9%、新しい住宅地など 11.1%などが混在している。</p> <p>地区の 100.0%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>
ふれあい	<p>県道 77 号線から、びわ青少年の家に至る道が、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「川と緑のそよかぜロード」に選定されている。</p> <p>自然観察場所は、座禅川北側の雑木林が利用されている。</p>
人 文	<p>道祖神は、芳盛寺や座禅川周辺の集落付近に 4 箇所ある。</p> <p>指定文化財は、芳盛寺に平塚市指定の有形文化財（絵画：紙本版摺着色 十二天像のうち十一天と、絹本着色 僧空海画像）がある。</p> <p>社寺は、真言宗の古寺である芳盛寺、中庶子分地区の鎮守である造化神社、十二社権現がある。</p>



	内 容
総合評価	<p>樹林、農地、集落が近接した自然と景観がみられる。人とのふれあいの場となっており、人文資源も豊富である。里山らしさがよく残されている。</p>
自然評価総評	<p>丘陵斜面に分布する樹林がまとまりのある緑を形成している。畑地に囲まれたまとまりのある二次林が広がり、低地の水田にはわずかながら素掘り水路もみられる。樹林、草地、水辺の指標種が生息、生育しており、良好な里山としての自然が残されている。</p>
人のかかわり評価総評	<p>樹林、農地、集落が近接した里山の景観がよく残されている。 散策路と自然体験フィールドがあり、地区の一部が自然観察場所として利用され、人とのふれあいの場となっている。 道祖神、富士講の祠（ほこら）、正蔵院、妙圓寺、造化神社、湧水などの人文資源が豊富である。</p>
景観	<p>里山景観要素の割合が 86.3%と高く、里山の景観がよく残されている。樹林 33.3%、畑地 33.1%、古くからの集落の住宅地 14.6%などが混在している。地区の 44.8%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>
ふれあい	<p>地区西側に沿って、県道 77 号線から妙圓寺の西側を通り、南にのびる道が、『関東ふれあいの道』に選定されている。 自然体験フィールドとしては、地区南東の丘陵地が「平塚の自然を守る会」の活動場所として、雑木林の管理や自然観察が活発に行われている。 自然観察場所は、正蔵院の東側から南西にのびる道が利用されている。</p>
人文	<p>道祖神は、座禅川の南側の集落に 4 箇所ある。 史跡は、正蔵院の南側に富士講の石の祠がある。 社寺は、天台宗の寺院の正蔵院と、弁財天がある天台宗の妙圓寺、神社は造化神社がある。 湧水は、個人宅に自噴の湧水がある。</p>

小地区 16

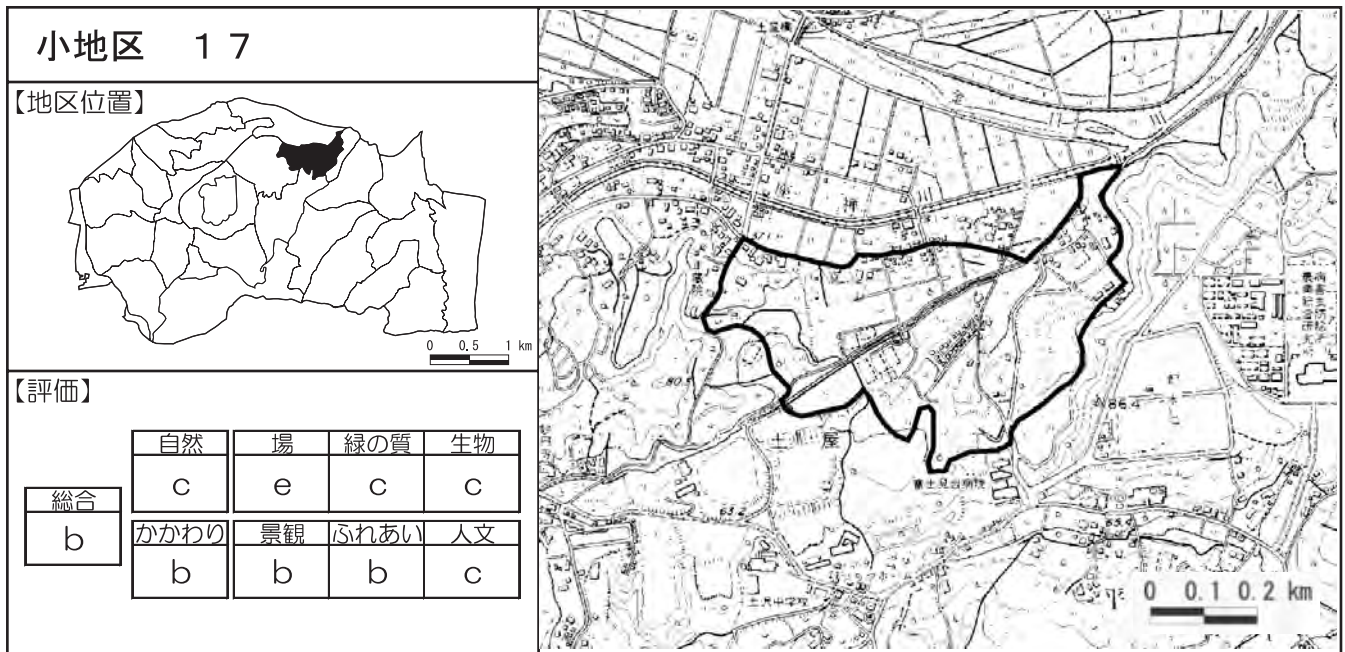
【地区位置】

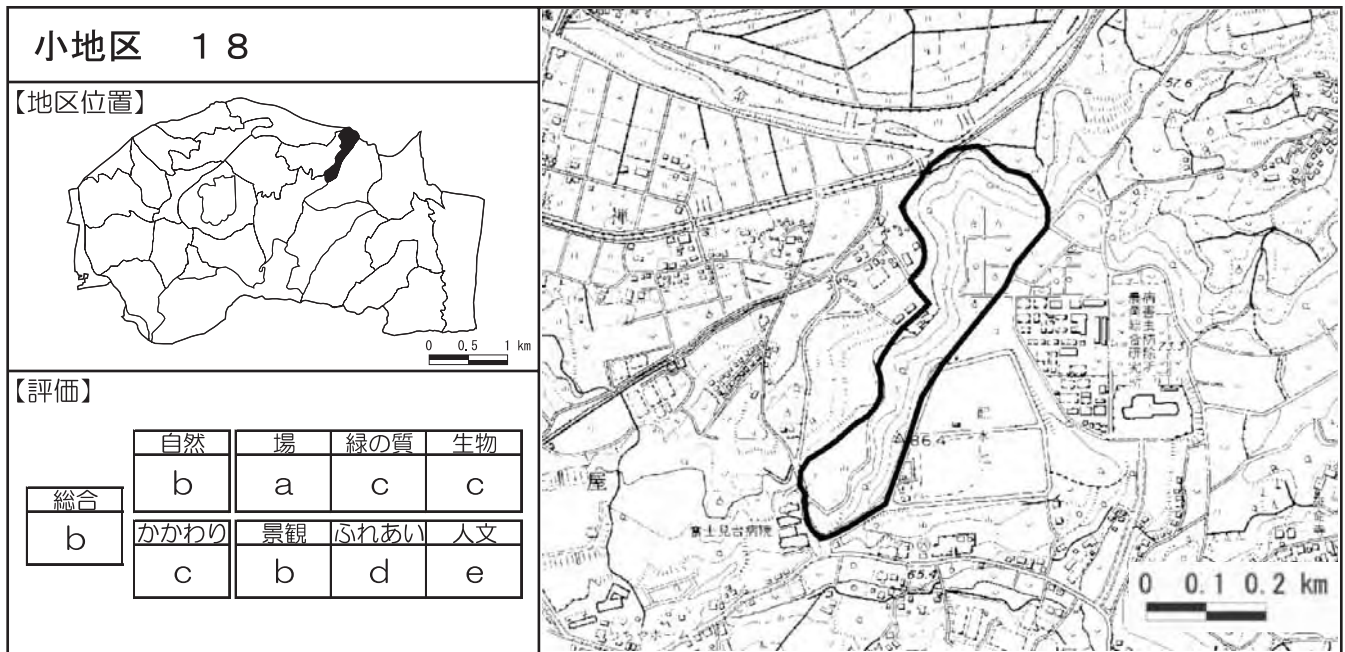
【評価】

	自然	場	緑の質	生物
総合	c	c	d	b
b	かかわり	景観	ふれあい	人文
	a	b	a	b

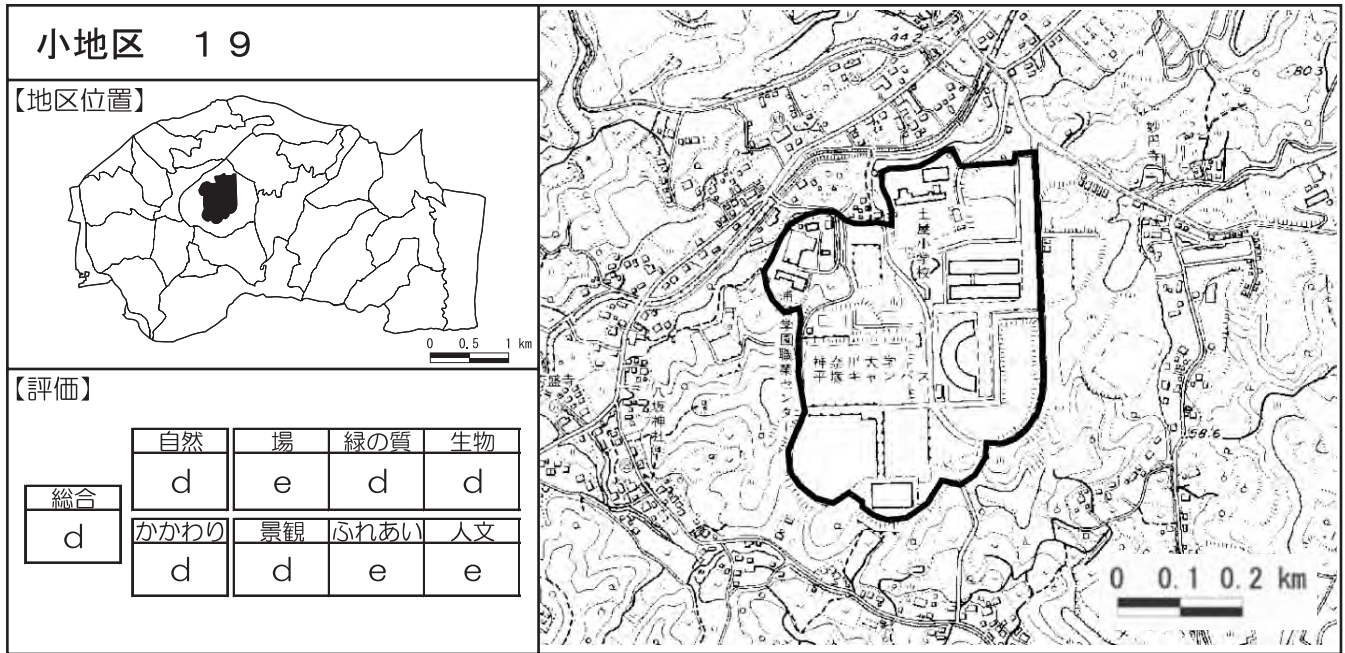
内 容	
総合評価	農地と樹林を主体とする自然と景観がみられる。主要な人とのふれあいの場となっており、人文資源も多い。里山らしさがよく残されている。
自然評価 総評	畑地に囲まれて二次林が残存しており、琵琶周辺の中核となる緑、神奈川大学周辺のまとまりある緑をとりまく緩衝帯となっている。おもに樹林と草地の指標種が生息、生育している。
人との かかわり 評価総評	農地と樹林を主体とする里山の景観がよく残されている。 複数の散策路と、自然体験フィールドがあり、主要な人とのふれあいの場となっている。 道祖神、保全樹、人増の館跡などの人文資源がある。
景 観	里山景観要素の割合が 81.2%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が 44.1%と多く、畑地にとり囲まれるように分布する樹林 29.1%などがみられる。 地区の 20.9%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	富士見台病院東側は『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「近未来へのこもれびロード」、「花といにしえの田園散歩道」に選定されており、地区南側のゴルフ場との境界の道は「川と緑のそよかぜロード」、「緑と文化の湘南丘陵の道」に選定されている。ゴルフ場との境界の道を通り、西側に沿って妙圓寺に至る道は、『関東ふれあいの道』に選定されている。 自然体験フィールドとしては、地区の北側の丘状地形の場所が「平塚の自然を守る会」の活動場所として、雑木林の管理や自然観察が活発に行われている。
人 文	道祖神は、地区の東側の土沢中学校周辺に 4 箇所、地区の西側に 1 箇所ある。史跡は、戦国時代につくられたと推定される人増の館跡（武家屋敷跡）がある。保全樹は、くすのき、けやき、しいのきがある。



	内 容
総合評価	農地を主体とした自然と景観がみられる。人とのふれあいの場となっており、人文資源もある。里山らしさが比較的良好に残されている。
自然評価 総評	農地と住宅地が主体である。樹林は少ないが、水田域では、素掘り水路や護岸されていない河川（三笠川）がみられる。おもに水辺と草地の指標種が生息、生育している。
人との かかわり 評価総評	農地を主体とした里山の景観が比較的良好に残されている。 散策路があり、地区の一部が自然観察場所として利用され、人とのふれあいの場となっている。 道祖神と湧水などの人文資源がある。
景 観	里山景観要素の割合が 73.0%とやや高く、里山の景観が比較的良好に残されている。畑地が 43.2%と多く、その他、新たな住宅地など 12.3%、人工草地 12.4%、樹林 10.4%、古くからの集落の住宅地 7.1%、草地 6.1%、水田 6.2%などがみられる。 地区の 14.0%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	富士見台病院から北側に伸びる道が『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の、「近未来へのこもれびロード」、「花といにしへの田園散歩道」に選定されている。 自然観察場所は、座禅川沿いが利用されている。
人 文	道祖神は、座禅川沿いの集落に3箇所ある。 湧水は、個人宅に自噴の湧水が2箇所ある。



内 容	
総合評価	樹林を主体とした自然と景観がみられる。人とのふれあいの場としての利用は少なく、人文資源はない。里山らしさがある程度残されている。
自然評価 総 評	段丘崖に帯状に樹林が続き、金目川沿いの緑の中核となっている。斜面の二次林に接して畑地があることから、おもに樹林と草地の指標種が生息、生育する。
人との かかわり 評価総評	樹林を主体とした里山の景観がよく残されている。 急斜面であるので、一部散策路が通過するものの、人とのふれあいの場としての利用は少ない。 集落が存在しないため人文資源はない。
景 観	里山景観要素が 80.4%と高く、里山の景観がよく残されている。樹林が 64.1%と多く、その他、人工草地 16.2%、畑地 12.2%などがみられる。地区内の鷺坂の斜面林は、市域の 9.8%から眺望できる。 地区の 1.0%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	地区西側の富士見台病院沿いの道と、地区南東側の斜面上部の配水池沿いの道が『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「近未来へのこもれびロード」、「花といにしへの田園散歩道」に選定されている。
人 文	人文資源はない。



内 容	
総合評価	神奈川大学および土屋小学校の敷地である。校舎と調和のとれた緑地が広がり快適な空間ではあるが、里山らしさは残されていない。
自然評価 総合評価	学校の校舎とグラウンドなどのオープンスペース、水生植物が繁茂する調整池からなる。おもに草地と水辺の指標種が生息、生育している。
人との かかわり 評価総評	近代的な建築物とオープンスペースが広がっている。里山的な人とのふれあいの場や人文資源は存在しない。
景 観	里山景観要素の割合は 20.4%と低い。大学の建築物などが 51.5%、人工草地在が 27.6%を占めている。 地区の 49.6%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	人とのふれあい資源はない。
人 文	人文資源はない。

小熊地区の水呑地蔵

土屋の小熊地区に「水呑地蔵（みずのみじぞう）」と呼ばれるお地蔵さまがあります。これは、中世の頃罪人の処刑執行直前に、末期の水を飲ませたところといわれ、その供養として地蔵尊を祀ったところであると伝えられています。ここでは、かつて念仏講の皆さんがご馳走を持ち寄り、子ども達を交えて念仏供養が行われました。

かつて、現在の水呑地蔵のある場所が開発、造成された時に、水呑地蔵とその周りに15体あるお地蔵さまは、一旦安全な場所に移されました。開発後、再びお地蔵さまが戻されたのですが、肝心の水呑地蔵がなくなってしまいました。

今の水呑地蔵は、比較的新しいもので、水呑地蔵を囲む15体のお地蔵さまは、昔から引き継がれてきたものです。

また、水呑地蔵の近くには、牢屋跡、処刑場跡、さらし首場跡などがあり、おそらくは牢屋近くの坂という意味と考えられる「牢坂（ろうざか）」、別名「堂坂（どうざか）」が地名として残っています。



水呑地蔵の今昔 左:撮影年月不明、右:2005年12月2日撮影



かつての水呑地蔵堂 撮影年月不明



現在の水呑地蔵 2005年12月2日撮影



水呑地蔵の周りにお地蔵さま
2005年12月2日撮影



牢坂（堂坂） 2005年12月9日撮影